

小田原市尊徳記念館

令和8年度

金次郎を学ぶ会 講座

報徳の実践と小田原町の人々

大正四年

一月例会ヲ九日午後六時ヨリ市井社長宅
於テ開會左ノ事項ヲ奉行シ同土時
會ヤリ

一 式(報徳訓朗讀)

一 佐々井中學校教諭ノ講話

報徳ノ原理

一 府川先生ノ講話

二 宮先生ノ年賀状ノ就

一 草山二宮神社々司ノ森村市左衛門公

●日時：令和8年7月12日(日)
午後1時30分～3時

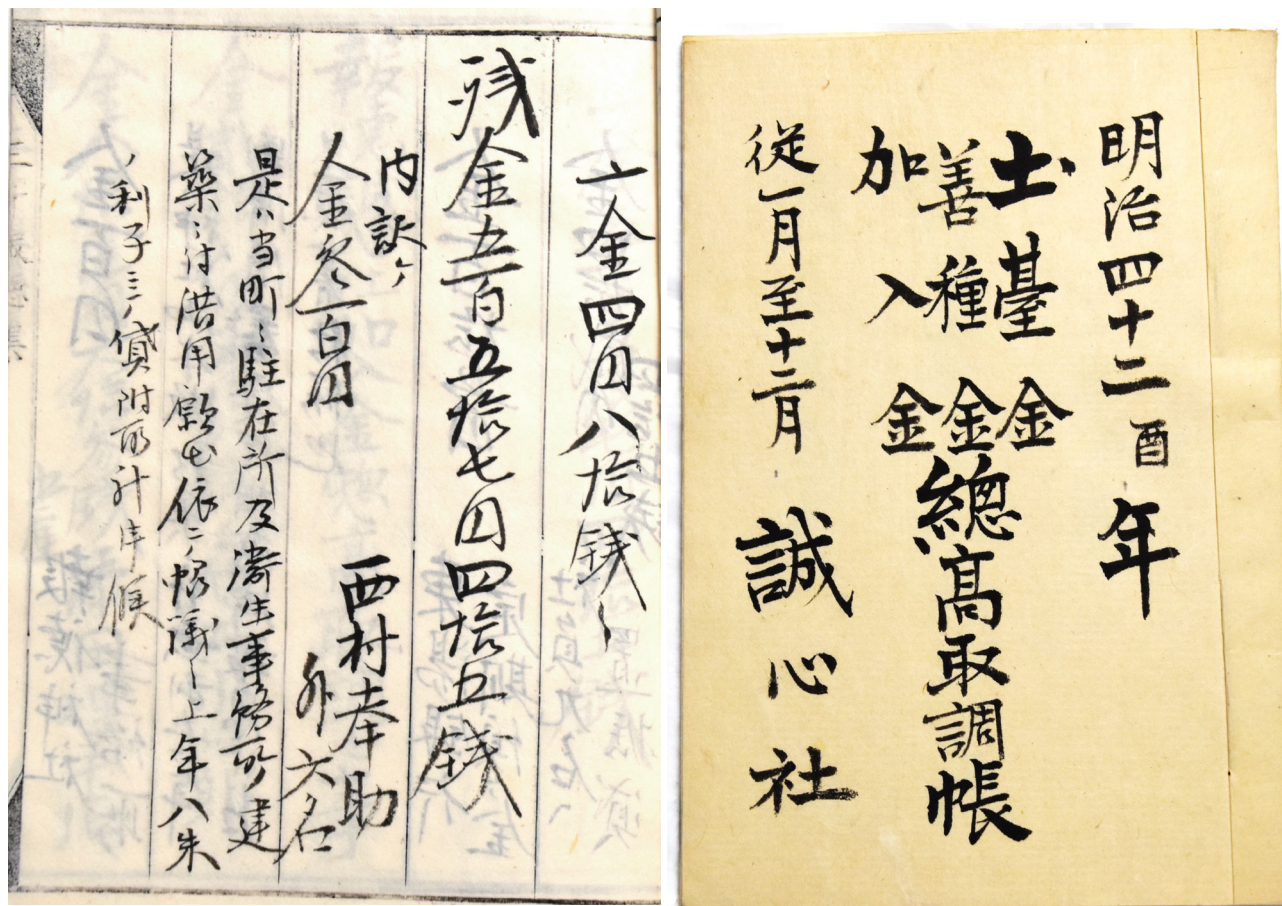
●会場：小田原市尊徳記念館 3階講堂
(神奈川県小田原市栢山 2065-1)

●定員：100名 ※無料

●講師：小田原市尊徳記念館学芸員

二宮尊徳の故郷小田原の人々は、

その教えをどのように学び生かしていったのか



誠心社の収支を記録した帳簿（小田原市立中央図書館所蔵）

江戸時代後期、小田原城下の人々は財政難に苦しんでいました。そんな折に、近隣の農村が二宮尊徳によって天保の飢饉から救済される様子を見た町の有志は、自分たちにも復興の策を授けてほしいと尊徳に嘆願します。尊徳はこの申し出を認め、有志たちに資金を提供しました。この資金を元手に「小田原宿報徳社」という低利の貸付を行う組織が結成されます。同社の活動は明治維新以降も続き、周辺にはその支社も作られていきました。

今回の講座では、小田原町内の緑町にあった報徳社「誠心社」の活動を中心に、明治から大正にかけての町の人々が、尊徳の教えをどのように近代社会に生かしていこうとしたのかについて見ていきます。

◎小田原市尊徳記念館アクセス

〒250-0852 神奈川県小田原市栢山 2065-1

電 車：小田急小田原線…栢山駅または富水駅から徒歩 15 分

自動車：東名高速道路大井松田 IC から約 10 分
小田原厚木道路小田原東 IC から約 10 分

